

在日米軍でコロナ感染が拡大 情報提供・公表で基地従業員と住民守れ

～日米地位協定の改定が必要～

在日米軍内での新型コロナウイルス感染が拡大している状況です。

米国防総省は3月31日に個別の感染事例を公表しない方針を決めました。在日米軍関係者の感染者は31日までに、米海軍横須賀基地所属の米兵5人（うち2人は基地外居住）、米陸軍相模原住宅地区居住の家族1人、米空軍嘉手納基地所属の米兵2人と家族1人でした。米海軍佐世保基地では例外的に4月3日に感染者1人が出たことを明らかにしました。

米国メディアは横須賀基地所属の原子力空母ロナルド・レーガンの乗組員15人がコロナ感染していることを報じています。在日米軍内で感染が広がっていることは疑いがありません。

安倍政権は、日米間の合意(1996年)に基づき、感染者の必要な情報は米軍と地元保健所との間で共有されていると説明しています。しかし米軍方針を容認しているので、感染者の行動や濃厚接触者の状況、日本国民との接触の有無などの情報は、

15人のコロナ感染が
出た横須賀の空母ロナルド・レーガン



米軍から提供・公表されていません。

嘉手納・横須賀などの基地外には多くの米兵・軍属が住居し、自由に出歩いている姿が見られます。基地で働く日本人従業員や周辺住民などに感染する恐れがあります。

この状況に安保破棄中央実行委員会は4月8日、「米軍関係者からのコロナ感染拡大を防止するための要請・交渉」を防衛省・外務省におこないました。日米地位協定第9条は「合衆国軍隊の構成員は、旅券及び査証に関する日本国の法令の適用から除外される」としています。直ちに地位協定の抜本改定が必要です。



木更津配備予定の欠陥だらけの危険な陸自オスプレイ

防衛省は4月14日、千葉県木更津市に対して5月上旬に陸自のV22オスプレイの最初の2機が暫定配備で山口県の米軍岩国基地に到着すると説明しました。今週から米国から岩国基地に向けて2機の海上輸送が始まると説明しています。ただ、同省は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、米側要因による作業の実施時に

防衛省は、陸自オスプレイが木更津駐屯地に輸送される時期は確定しておりません」としています。6月下旬以降に陸自木更津駐屯地への暫定配備を狙っています。移動時期については流動的です。

欠陥だらけの危険な米軍陸自のオスプレイは、日本のどこにもいらない」という声を大きく広げていくことが求められています。

陸自オスプレイ 来月上旬に岩国到着

防衛省 木更津へ6月以降配備狙う

辺野古工事、本日(17日)は中断

沖縄防衛局は16日、辺野古工事に関わる業者の60代男性が新型コロナウイルスに感染したと発表しました。本日(17日)の工事はいったん中断するようです。(朝日新聞17日付より)

沖縄・普天間基地
有機フッ素化合物の
泡消火剤が大量流失

沖縄の米軍普天間基地から4月10日に発がん性が疑われる有機フッ素化合物を含む泡消火剤が大量流失しました。同基地の泡の流失は昨年12月にも発生しており、度重なる事故は許されません。早急に国・各自治体による基地への立ち入り調査を強く求めます。